

市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主催：上灘地区振興協議会

とき：平成26年11月19日（水）13:00～

ところ：上灘公民館

テーマ：「倉吉市から見た上灘地区の将来像」

<市長より（意見交換のきっかけとして）>

- ・上灘は年齢構成をみると、比較的若い恵まれた地域。高齢化率も上井、西郷に次ぎ市内3番目の低さ。とは言っても高齢化は確実に進んでいる。
- ・国や県、病院といった公共施設が集中し、大御堂廃寺跡や田内城跡といった歴史的なものもある。
- ・住宅地として整備が進んでいるが、その反面、地価が高いことがネック。
- ・アパートが多く、自治会活動がしにくい地域性。加入率にも表れている。しかし、活動自体は非常に活発に行っていたいている。

<主な意見について（抜粋）>

【健康づくりについて】

- ◇高齢者が多いことから、田内と東巖城をモデル地区に取り組みを進めているところ。田内は立地上、買い物をする場所が遠いという課題がある。今後、高齢者が免許を返納していく中で交通面に不安がある。高齢化を止めることは難しいが、高齢者の住みやすいまちづくりが必要。
- 上灘は比較的若い地域と話したが、それでも地域内で高齢化率の高いところ、低いところと地域内格差がある。これからの地域づくりには元気な高齢者の活躍が必要不可欠。それぞれの地域にある資源を使うことが重要。

【会下谷川の桜について】

- ◇現在、地区が中心になり花回廊構想を進めている。会下谷川の桜は、打吹公園の桜に並び倉吉市の目玉となるものである。今後の市の方針について、金銭面も含めて市長の考えを聞きたい。
- 会下谷川の桜については散策にはいいものの、シートを広げてゆっくり花見ができるようなスペースがない。河川の管理は県の管轄ということもあり、県も一緒になり皆さんと考えていきたい。個人的には、期間限定でも京都の川床のようなものができれば面白いのではと思う。

【海拔標記について】

- ◇日本海で津波が来ると最大20mというニュースを見た。身近に海拔を示した表示がなく不安である。地区公民館にでもつけてもらえないか。
- 基本的に津波の被害は倉吉にはない。ただし、天神川を上って来るものについては対策が必要。海拔標記は国の対応だったものの動いていない状況。地区公へ表示するよう市で対応したい。ちなみに上灘公民館は海拔15m。

【ふれあいトークについて】

- ◇このように市長と直接話すような機会を継続的に設けてほしい。

等々